社会福祉法人県央福祉会「公開講座」
特定非営利活動法人　シーガル研修・研究機構「受託研修」

「～息子よ。そのままで、いい。～」

－　共生社会で障害者があるがままに生きる理想と現実　－

自閉症のお子さんを持たれている神戸さんは、相模原事件発生後、いち早く『障害を持つ息子へ』（ブックマン社）を出版された。

お子さんを愛しても期待をするような愛が返ってこないことに自分をダメ父と思ったことがあったそうだ。そういう状況でも、神戸さんと奥様は時間をかけてお子さんを育てていく中で、最近では“障害を持って生きてもいいのだ“と思えるまでになったという。

今回の研修では、今の“障がい者や社会的に弱い立場の人々を包む空気や社会”について、障がいを持つ子の親、そして報道記者としての体験などを持つ神戸さんからあるがままにお聞きし、共生社会の取り組みの大切さについて考えてみませんか。

今回は、特に、障がいを持つお子さんのいるお父さん達にぜひ聞いていただきたい講演です。

＊講　師：神戸　金史　先生　（ＲＫＢ毎日放送　東京報道部長）

＊日　時：平成 30 年 6 月 27 日 (水)19：00 ～ 20：45（18：45 開場）

＊場　所：シリウス・メインホール（アクセスは裏面）

＊参加費：無料

＊対　象：社会福祉従事者、教職員、保護者、一般市民どなたでも参加できます。
（お子さん同伴可）

≪講師プロフィール≫

1967 年群馬県生まれ。91 年毎日新聞社入社。長崎支局で雲仙・普賢岳大火砕流に遭遇し、災害取材に専従。99 年 RKB 毎日放送に転職。ドキュメンタリー『攻防　蜂の巣城～巨大公共事業との闘い 4660 日～』を制作、放送文化基金賞で入賞。04 年毎日新聞で、自閉症児の父親の立場からコラム『記者の目』や、『うちの子　自閉症児とその家族』を連載。05 年 RKB 毎日放送より、ドキュメンタリー『うちの子　自閉症という障害を持って』として映像化し、JNN ネットワーク大賞を受賞。報道部長、テレビ制作部長などを経て 16 年から東京報道部長。著書に『雲仙記者日記　島原前線本部で普賢岳と暮らした 1500 日』(ジャストシステム出版部) など。

＊申込方法：事前に申込書（裏面）にて申込ください。
（申込み締め切りは 6 月 25 日（月））

お問い合わせ先：　特定非営利活動法人　シーガル研修・研究機構
事務局　担当　石光（いしみつ）
大和市中央 2-4-14　全広社第２ビル 310 号
TEL　046-240－1961　　fax　046－240－1962
E-mail：takashi.ishimitsu@stro.or.jp

＊本「公開講座」は、県央福祉会からの受託をうけて、シーガル研修・研究機構が計画・実施するものです。

県央福祉会　公開講座　参加申込み

「障「～息子よ。そのままで、いい。～」生社会で障害者があるがままに生きる理想と現実―

以下の参加申込書にご記入の上、下記の事務局まで FAX または e－mail にてご送信ください。

送付先：**特定非営利活動法人シーガル研修・研究機構**　事務担当　石光（いしみつ）

FAX：０４６－２４０－１９６２

e－mail：takashi.ishimitsu@stro.or.jp

≪会場のご案内≫

会場：大和市文化創造拠点シリウス・メインホール

住所：神奈川県大和市大和南一丁目８番１号

電話：046－259－7591

＊　小田急江ノ島線・相鉄本線

大和駅（北口・南口）徒歩４分

◎　特定非営利活動法人シーガル研修・研究機構とは

福祉・介護等に就労している方々、若しくは関心のある方々等に対して専門性が高く、視野の広い研修を提供し、総合力を有する人材育成をし、福祉サービスの質の向上を図ることを目的とする NPO 法人です。

≪参加申込書≫

氏　名	ふりがな	
所　属		
連絡先住所	〒	
連絡先	TEL　： Fax　：	e－mail